☆会場　東京第二教化部会館、
星竹バーベキューランド（あきる野市）

☆対象　小学生・幼児（4才以上）
その保護者

＊ご家族揃ってご参加ください！
＊中高生、大学生のボランティアも募集しています！！

☆奉納金（施設利用代を含みます）

小学生　1,000 円
幼児、保護者　500 円
＊幼児…4～6才の未就学児

☆プログラム（予定）

7:30	集合・受付開始	12:00	昼食　BBQ
7:45	開会式		川遊び、スイカ割り！
8:00	教化部出発（マイクロバス）	14:30	現地出発（マイクロバス）
	星竹BBQランドへ	16:00	閉会式
9:20	現地到着	16:30	解散予定
	自然観察・楽しい川遊び！		

☆注意事項

＊現地に直接集合を希望される方へ
当日は施設の駐車場と周辺道路がかなり混雑します。早めに出発して9時までに現地に到着してください。
駐車場が満車になった場合、徒歩で15分ほど離れた駐車場に停めていただくことになります。ご注意ください。

＊雨天時について
雨天の場合、教化部会館を会場に、わくわくプログラムを実施する予定です。

☆当日の持ち物

帽子、水筒、タオル（バスタオル等）、水着、川遊び用の靴（脱げないサンダルでも可）、浮き輪、水中メガネ、ライフジャケット（お持ちのご家庭）、ビニール袋（濡れた水着用）

＊水筒（飲み物）はできるだけ多めにご準備ください（水分不足による熱中症を防ぐため）。
＊川遊び用の靴は、保護者の方もご準備ください。
＊現地には、マイクロバスで向かいます。酔い止めが必要なお子様は、各家庭でご準備ください。

・申し込み締切日　7月 17 日（木）
・申し込み先　左記 QR コードにアクセス
または下記連絡先まで

主　催　生長の家東京第二教化部　〒183-0042　府中市武蔵台 3-4-1
TEL　042-574-0641　FAX　042-574-0642　Email：mikayo.tokyo2@mbr.nifty.com

題字 谷口雅春先生 御揮毫

令和 7 年
（2025 年）
7 月号

ISO14001 の認証を取得
生長の家東京第二教化部

発行人　久都間　繁
編集人　加藤　嘉寛
生長の家東京第二教化部
〒183-0042
東京都府中市武蔵台 3-4-1

教化部・相愛会
青年会・栄える会
教職員会
TEL 042-574-0641
FAX 042-574-0642
白鳩会
TEL 042-574-0643
FAX 042-574-0642
地方講師会
TEL 042-574-4732
FAX 042-574-0642

『多摩の光』はネットでも見られます
多摩の光 で検索

ミックス
責任ある木質資源を使用した紙
FSC www.fsc.org FSC® C010952

相愛会

自然の中で俳句を作る

地球社会貢献チーム
サブリーダー　榊間　裕

梅雨の中休みで真夏のような暑さが続いています。今回は、地域の自然と親しみ、俳句作りを楽しむミニイベントで、武蔵小金井の滄浪泉園（そうろうせんえん）に行ってきました。

この公園は、明治・大正期に外交官や衆議院議員を歴任した波多野承五郎の別荘だった屋敷を、公園として整備したものです。武蔵野の「はけ」と呼ばれる高低差と、そこから湧き出る水を巧みに取り入れた庭園です。

公園内に一歩足を踏み入れると、外部の猛暑とは隔絶した、森の涼しさが私たちを包み込んでくれました。東屋（あずまや）のそばには水琴窟（すいきんくつ）があり、地中の空洞に水滴が落ちる澄んだ音色を楽しむことができました。参加者はそれぞれ自然と一体となり、心に浮かんだ思いを言葉で表現することに集中しました。

今月のネット俳壇の兼題である風鈴を藤棚につるし、その澄んだ音色に耳を傾けました。約一時間滞在して俳句を詠み、最後に発表し合うことで、互いの作品とそこに込められた思いを共有しました。

白鳩会

ゴミから生まれる〝いのちの循環〟

副連合会長
地球社会貢献部部長　横山 恭子

一年前、環境対社会対策部で開催した「ダンボール箱を使ってコンポストを作ろう」のイベント。大量のエネルギーを使って焼却処分されるゴミを少しでも減らしたいという思いはあったものの、虫やニオイ、手間がかかるのでは…と、勝手にハードルを高くしていました。

イベント開催にあたり、色々と調べたり、実践している人の話を聞いたりすると、生ゴミが意外と簡単に、とても良い堆肥になるということが分かったのです。

当日は、実際にダンボール箱でコンポスト容器を作り、配合した土と水で基材を作るまでを実践しました。作り方はこうです。少し厚めのダンボール箱は、蓋を立てて角と底をガムテープで補強します。底には新聞紙を2日分敷き、その中にピートモスとくん炭を3対2の割合で7分目ほど入れ、霧吹きで水分を加えます。虫が入らないように、不要のTシャツを袖の下で切り取り、巾着のように紐で結んで箱に被せればカバーの完成です。

そうして作ったコンポストを我が家へ持ち帰り、雨の当たらない風通しの良い、少し日の当たる場所に置きました。いよいよ生ゴミの投入です。卵の殻、野菜くず、茶殻などをよく水切りし、土に入れるたびに軽く混ぜてカバーをします。

最初は、虫やニオイが心配で、カバーを取るたびにドキドキしていました。でも、回数を重ねるうちにホカホカと温かくなり、土の良い香りがして、野菜くずがみるみるうちに消えていくんです。そんな様子を見るのも楽しく、感動的でした。Tシャツカバーのおかげで虫も入らず、白カビのようなものも混ぜてしまえば大丈夫でした。

半年ほど経ったところで、半量の堆肥を庭の土の上に置き熟成させました。箱の中へは再び7分目まで基材を入れ、生ゴミを投入。ダンボール箱は約1年も持ちました。先日、この生ゴミ堆肥を使って夏野菜を育てたんです。

捨てればただのゴミが、目に見えない微生物のおかげで美味しい野菜作りの土となる。まさに「いのちの循環」を感じました。

これからも楽しく、ダンボールコンポストを続けていきたいと思います。

地方講師会

「キッチン染め」はじめました

副会長　大村 眞知子

私が以前から憧れていた「染め物」は、安易に取り組むことは出来ないものと諦めていました。しかし、そんな中で出会ったのが、石井せつ子さんの著書『キッチン染めを楽しむ12か月』という本でした。

この本で衝撃だったのが、見出しの〝染める素材も材料も家の中に〟というフレーズでした。つまり、染めに使う道具は普段使いの調理器具や食器でよく、媒染液はそのままシンクに流せる焼きミョウバンなどを使う。また、染料には古い紅茶や珈琲などのお茶類、期限切れの干し椎茸やスパイス類も使うという。そして、料理をしながら偶然に出会える黒豆・小豆・栗の茹で汁は、嬉しい染料となり、玉葱・みかん・ブドウ・ピーナッツの皮は捨てないで染料に……などなど。

私も、白いレース糸で編んだ小さなモチーフ2枚を抹茶と赤ワインで染めてみました。媒染はしませんでしたが、抹茶染めは生成りに近いやさしい色に、赤ワイン染めは濃い紫色に染まりました。

毎日、お世話になっていた台所で、憧れていた染め物がこんなに身近でしかも手軽に楽しく出来てしまう。灯台下暗しとはこういうことを言うのですね。

信仰随想　川のほとりにて 28

“聖なる使命”について

久都間 繁（東京第一教区・第二教区教化部長）

「人間は神の子である」というのが生長の家の教えだ。この言葉は、私たち人間が担った〝聖なる使命〟を伝えている。それは、到達するための目標ではなくて、はじめから〝神の子〟なるものが、この世に誕生して今あなたとなって生きている、という宣言なのである。

わが家の〝実家仕舞い〟のことを前回紹介したが、同様に現代は〝墓じまい〟も他人事で済ますことのできない社会的な問題だ。地方出身で、ご縁あって都会で家を持つようになった方や、田舎のお墓の世話が困難になった方などがこのテーマに直面している。

長らく故郷を離れて暮らしていた方はご経験あると思うが、生まれ育った郷里も、半世紀の歳月が経てば人や建物がすっかり変わり、もはや誰も知る人のない浦島太郎状態となる。

一方、目に見えない霊界の方は浮世よりずっと緩慢で、しかも時の経過とともに緻密で鋭敏な連絡網が構築され、打てば響くように私たちが振り向くことを待っているようだ。

わが家も〝実家仕舞い〟とセットになって墓じまいの問題が巡ってきた。これを塩漬けにしていたのでは、子や孫の世代に難題を押しつけることにもなりかねない。墓のあった菩提寺は数年前に失火で焼失し、現在は更地になっていた。こんな見通しの立たない、暗中模索の時こそ生長の家の出番と思い、日々の神想観の折りに実家の処分やお墓のことなど、故郷にまつわる一切を神に全托して、諸般の導きを亡父にも請うていたのである。

先ず実家の売却は、導かれたように買い手が決まった。その家を明け渡すべく片付けていた五月の連休中、近所にお住まいの方が訪ねてきて、その方を通して、寺院の再建の一切を託された方とご縁をいただき、とんとん拍子に話が進み、墓じまいの目処も立ったのである。

ここに至る半年ほどの間、実家や会社の土地や事務所の売買に当たって、紙面に書き切れないほどの出会いと機会に次々と恵まれた。彼らとのご縁、そして遣り取りを通して、目には見えないが不思議な連絡網と、亡き父の導きを体感させていただいたのである。

「天網恢々疎にして漏らさず」（老子）という言葉がある。これは天地に隈無く張り巡らされた不思議な網のことを表現した言葉だが、多くの辞書は、これを因果応報的な天罰の視点から解釈する。しかし生長の家の「日時計主義」では、そのような解釈はとらないで、「天網」を宇宙に満ちる観世音菩薩の救いの御手として拝むのである。

それは、私たちのどんな憂いも苦悩も悲しみも受容して、すべてを救い給う仏の慈悲喜捨の働きである。生長の家が、宇宙に充ちる仏（神）の天網とひとつになって「四無量心を行ずる神想観」を実修させていただくのは、すべての人間が生まれながらにして持つ〝聖なる使命〟が豊かに地上に顕現して、多くの人の苦しみを除き、楽を与えるためなのである。

心も温まる地域社会のムスビの場

生長の家オープン食堂

無農薬・有機栽培のお米を食べよう！

7/20（日）12:00 ～ 13:15
（ラストオーダー）

（写真はイメージです）

会　場：教化部ロビー
対象者：どなたでも
メニュー：タコライス
　　スープ

オープン食堂には近隣住民の方が毎回 20 名ほど参加され、地域コミュニティとなっています。

食事代は無料です

食数は 50 食までとなります

教化部長による **地区先祖供養祭**

調布・稲城地区（飛田給道場）

久都間教化部長が地域を巡る先祖供養祭です。
地区を越えて、どなたでもご参加いただけます。

と　き…7 月 16 日（水）12:30 ～ 15:30
ところ…生長の家本部練成道場（飛田給）
持ち物…霊牌、聖経『甘露の法雨』『天使の言葉』
奉納金…300 円、霊牌 1 柱 100 円
テキスト…『霊供養入門』（1,257 円 / 税込）　必ずテキストをご用意ください。会場販売もございます。

プログラム（予定）

12:30	神想観実修
13:00	開会の挨拶
13:05	先祖供養祭
14:35	講話･質疑応答
15:20	行事案内
15:25	閉会の挨拶

住所：調布市飛田給2－3－1

＜アクセス＞　京王線「飛田給駅」から徒歩 5 分。駐車場あり。

よろこびの信仰体験

八王子市　押見 美耶子さん

奇跡の生還、そして気づき

コロナウイルス感染症が流行していた頃のことです。いつものように夕食を作り、テーブルを拭こうと台布巾を絞ったその時、突然意識を失い、静かに倒れてしまいました。痛みや苦しみといった前兆は一切なく、覚えているのは布巾を絞っていたことだけです。

気がつくと病院のベッドの上で、体にはたくさんのチューブが繋がれていました。傍らにあった紙袋の中を見ると、スマートフォンがあり、開くと日付と時間が目に飛び込んできました。その日は輪読会の日でした。すぐに入院していることを連絡すると、仲間たちは大変驚き、私のために祈ってくださいました。意識を失ってから４日後のことでした。

主人からは「心配している」とメールが届いていました。それからというもの、毎朝主人に「おはようございます。夜はぐっすり眠れています。今日の予定は～」とメールを送るのが日課となりました。

コロナ禍で面会謝絶でしたが、私自身は全く痛みもなく、むしろ元気でした。ありがたいことに、入院から15日間で退院することができました。

帰宅すると、主人が「君は運がいいね。守られているんだね」と言い、倒れてからの出来事を説明してくれました。救急車で八王子の病院へ運ばれたこと、家族を呼んだ方がいいと言われたこと、担当医が市外の病院への搬送を手配し、救急車に同乗して付き添ってくれたこと…。「そして君は助かったんだ！」と。

そのようなご親切に心から感謝しましたが、しばらくして、私は自分を責める気持ちになりました。幼い頃から母に連れられ、生長の家のお話をずっと聞いてきたのに、今まで一体何を学んできたのだろう。家族につらい思いをさせてしまった、と。

いつものように仏前で『観世音菩薩讃歌』の62～68頁を読んでいると、ふと気がつきました。私はまだまだ善なる神様を信じきれていなかったのです。そして、家族や仲間たちから、数えきれないほどの温かい愛とご配慮をいただいていることにも改めて気づかされました。感謝してもしきれないほどです。

これからは、いっそう神様を信じ、感謝の気持ちを忘れずに、少しでも皆様のお役に立てるよう努めていきたいと思っています。

心願成就 ～願いは叶う～

写経見真会

と　き…７月30日（水）12:30～
ところ…教化部・大拝殿
対象者…どなたでも

プログラム

12:30 神想観実修（久都間繁 教化部長）
13:00 開会の挨拶
13:05 写経の喜び
13:12 講話（久都間繁 教化部長）
13:32 写経についての説明
13:35 写経
15:20 写経奉納
15:25 閉会の祈り

★ 写経内容は、①従来の宇治に奉安する写経、または、②白紙の経本に『甘露の法雨』を写経、のどちらかを選んでください。（②の場合は事前にお知らせください）

★ 奉納金：300円（この他に、宇治に納める奉納金1,000円、または白紙経本代1,980円をお納めください。）

※ 使い慣れた筆ペンをお持ちください。

7月4日（金）

12：30～

毎月 久都間教化部長が指導します

実相研鑽ネットフォーラム

年齢性別を問わず、どなたでも参加できます

会場：大拝殿（ZOOMでも配信されます）
テキスト：『新版 生活の智慧365章』

12：30　神想観
13：00　講話・質疑応答
　　久都間繁教化部長
13：45　終了

※次回９月は第一教区からの配信です。

13：45～

白鳩会 熟年のつどい

なでしこスマイル

13：45　会員祝福
14：15　懇親会
14：30　閉会

☆次回９月２日（火）
（８月はお休みです）

続・森からのメッセージ（97）

なぜ地球は暑くなってしまうのか？（22 ）

“ Discover your “Truth of Life” flowing from God through Nature” HappyFly

倉橋　弘（文と写真）

＜筆者紹介＞　元地方講師会長
国立感染症研究所客員研究員
ミュージアム・リサーチフェロー
環境省希少野生動植物種保存推進員

★このコラムは、『聖使命新聞』掲載文の続編として連載中。

熱帯よりも暑くなってしまった日本の梅雨の季節。暖気（熱気）が東南アジアからシナ南西部を経て日本の東京付近まで張り出している。6 月 17 日は甲府で 38.2℃、関東平野でも 36 ～ 37℃となった。梅雨前線は消えて、太平洋高気圧が梅雨を降らした雲を消し、かんかん照りの夏日となっている。梅雨が明けてしまったかに見えるが、梅雨明けの宣言は出ていない。三寒四温と同じパターンで、三暑四冷の繰り返しとなるか、7 月のお天気が気になるところである。恐らく、その後も暑さが連日続き、昨年以上に厳しく、10 月上旬まで続くとコラムは予想している。

猛暑の中、日本列島の東側の近海で台風が発生して本土に接近するのは、8 月から 10 月にかけてであろう。台風は猛暑、空気、海水の高熱を冷ます大型扇風機のようなもので、猛暑を中和する空気の対流現象である。熱気を上空に吹き上げて、気温を下げてくれる。そのため少しずつ涼しくなるが、時間がかかり、11 月下旬まで夏日が続きそうである。昨年は半年以上夏日が続いた。

6 月 17 日、猛暑の中、長崎の “ 生長の家総本山 ” 龍宮住吉本宮では谷口雅春大聖師の 40 年祭が執り行われた。『生長の家』誌を発刊、ロングセラー『生命の實相』を著され、教化団体「生長の家」を創設された先生は 1985 年のこの日にお亡くなりになられた。

イギリスとインドネシア共同、ロンドン昆虫学会企画のスラウェシ島（セレベス）に於ける生物多様性学術調査のロゴ。

コラムは丁度この日にインドネシアのスラウェシ（セレベス）島のミナハサ半島のメナードと言う町にいて、先生のご逝去を知らなかった。Taman Nasional Dumonga-Bone 国立公園でロンドン昆虫学会企画の「プロジェクト・ウォーレス」に参加し、蝿類の生物多様性の調査を終えて帰国してはじめて知った。

スラウェシの熱帯雨林の中は暑いことは暑いが、調査期間中、設置した最高最低温度計は毎日同じで 28℃、湿度は RH100% と不変であった。異常気象の日本の暑さより低い値を示していた。

ウォーレスが先に歩みし雨林かな

〈報告〉 6月11日（水） 地区先祖供養祭（町田）

教化部長講話

参加者総数 17 名

菅原神社の脇にある神楽殿下の集会室にて開催。

「霊界は忙しいから、亡くなった主人に毎日仏壇で話し掛けるのは控えた方が良いのでしょうか？」との質問に、「奥様の話を聞いてあげるのも霊界のご主人の修行ですね」と回答され、会場が笑いに包まれました。

〈報告〉 6月14～15日（土～日） 神性を開く 三多摩見真会

尾関澄子 講師

聖歌合唱の時間

笑いの練習

ゲストに東京第一教区の尾関澄子講師（白鳩会連合会長）をお招きし、素晴らしい体験講話をお話しいただきました。

ゲストは田邊幸代講師の予定でしたが、事情により急遽代わりにご出講くださいました。明るく華やかな体験の数々に、皆の心にも華が咲いたようでした。

谷口雅宣先生著（生長の家総裁）

飛鳥讃歌

「一即多・多即一」の真理を感得するために！

子を堕胎し、苦しみの末に尼僧となった母・有彩（ありさ）と、霊界から現れた息子・有児（ゆうじ）の和解と対話の物語を通して、すべての人に「一即多・多即一」の真理と、争いの不用無用を感得せしめる長編詩を典雅な経本として刊行。

▼布装上製折本・貼函入・93頁・総ルビ付き▼2300円
▼生長の家刊▼日本教文社発売

万教包容の御祭

と　き…7月7日（月）
11:00 ～ 12:00 頃
“ 森の中のオフィス ” から
ライブ配信

御祭と総裁先生のお言葉がライブ配信されます。教化部でも上映されます。（ご自宅からも、左の QR コードや、本部ウェブサイトからアクセスできます）

※ 派遣講師が出講できなくなった場合は、まず会場責任者と相談し、無理なら講師会事務局に連絡を。

会　場　名	日	曜	時間	会場責任者	派遣講師
青梅畑中第二	3	木	13:30	福島ひろ子	山上教江
母親教室					
母／小金井いずみ	14	月	10:00	花岡恵美子	秋山久美子
母／清瀬	10	木	10:30	瀬尾絵梨子	國近明美
母／西東京のびのび	19	土	10:00	宮崎朋子	ﾈｯﾄﾌｫｰﾗﾑ
母／調布こでまり	10	木	10:30	藤田友子	時任泰子
母／ハッピーママ府中	31	木	10:30	大塚美佳代	秋山久美子
青年会誌友会					
青年誌友会	13	日	10:30	教区青年会	織田美智子
栄える会支部例会					
三鷹支部例会	12	土	10:00	榊間裕	椚啓子
ひばり支部例会	13	日	11:00	鷸野昌一	輪読会
大国魂支部例会	〃	〃	〃	榊間裕	〃
生命学園					
国分寺生命学園	27	日	8:00	岩田幸枝	夏季青少年一日見真会
日野生命学園				山口節子	
国立生命学園				中田民子	
八王子生命学園				押見美耶子	
府中生命学園				中村純子	

会場責任者は、開催日の１週間前までに派遣講師と連絡を取り、打合せを行ってください。

ミニイベント　貯金箱づくり

一汁一飯用の貯金箱を作りましょう

日　時：7月12日(土) 13:00 ～
場　所：教化部・信徒休憩室

持ち物：貯金箱にしたい空き瓶など
参加者：どなたでもご参加いただけます
主催者：榊間 裕（090-8891-4289）

ブロック講師交流会 開催予定

	開催日	開催方法・開催場所
A	7/16 水 10:30	Ｚｏｏｍ
B	7/25 金 14:00	Ｚｏｏｍ
C	7/23 水 13:30	教化部多目的室 +Zoom
D	7/24 木 14:00	Ｚｏｏｍ
E	7/17 木 10:00	Ｚｏｏｍ
F	7/19 土 10:30	八王子市学園都市センター +Zoom
G	7/18 金 10:30	Ｚｏｏｍ

テキスト
機関誌７月号、普及誌『３誌』７月号
冊子『“神の子”は性別によらず』

日曜誌友会（東京第一教区主催）

時間：12:30 ～ 14:00（最初の 30 分は神想観実修）
場所：東京第一教化部・大拝殿
配信：Zoom と Facebook(東京ムスビのひろば) で配信

月	日	曜	担当	講師	備考
7	6	日	東京第一	若柳宏晃	
7	13	日	東京第二	織田　孝	
7	20	日	休会		
7	27	日	休会		

講師の皆様へ　（国際本部通達より抜粋）

8月の「誌友会テーマ」解説

テーマ：“宗教目玉焼き論”への理解を深める

４月度の地方講師研修会テーマ（第一線での活動について理解を深めよう）で扱ったとおり、生長の家の運動は現在の日本の社会状況と教団の実情に対応して大きく転換した。また、2024 年９月発行の『“神の子”は性別によらず――生長の家白鳩会会則改正に伴うジェンダー関連問答集』にあるように、「女性の立場」に関する教義解釈にも変化があった。この転換や変化は、生長の家が現代を生きる人々に宗教としての「救い」を提供していくためであり、その根底にあるのは「宗教目玉焼き論」の考えである。

そこで、７月度は「宗教目玉焼き論」に関連して、以下のポイントの理解を深める。

<学習のポイント>

◆「宗教目玉焼き論」とはどのような理論か。
◆宗教運動が応えていくべき使命を持つものは何か。
◆“文書伝道の落とし穴”とはどのようなものか。

◎テキスト
①谷口雅宣先生著『戦後の運動の変化について』（45 ～ 49 頁、66 ～ 81 頁）
②『“神の子”は性別によらず―生長の家白鳩会会則改正に伴うジェンダー関連問答集』10 ～ 13 頁
③機関誌『生長の家』１月号 36 ～ 38 頁

白鳩会 IT 対策部主催

スマホ教室のご案内

LINE、Facebook、Zoom など
何でもやさしく、お教えします。

と　き：7月23日(水) 13:30 ～
ところ：教化部・１階 信徒休憩室
対象者：第二教区の組織会員
参加無料、予約不要

7月 誌友会予定表

誌友会テーマ…… 基本的人権の大切さを再認識し、憲法改正の動きを注視しよう

誌友会テキスト…『憲法を知ろう』『二百字日記１・２』『“人間・神の子”は立憲主義の基礎』普及誌３誌7月号

母親教室テーマ…… しあわせは父母への感謝から ～いのちのつながりに感謝する～

母親教室テキスト… 普及誌『白鳩』７月号

会　場　名	日	曜	時間	会場責任者	派遣講師
相 愛 会 誌 友 会					
三鷹・武蔵野	13	日	10:00	江嶋勇蔵	小野耕司
家族誌友会	1	火	12:30	鶴田智昭	君塚静男
立川・国分寺	26	土	10:00	濵田實	小林正行
東久留米大門	27	日	11:00	倉橋弘	花岡裕
武蔵村山	13	日	13:30	比留間康夫	大沢高虎
府中	19	土	13:30	佐藤辰夫	大沢高虎
調布国領	6	日	14:00	渡辺勝城	鶴田智明
国立梅	14	月	13:00	小林正行	鶴田智明
国立櫻	毎	土	7:45	織田孝	ﾈｯﾄﾌｫｰﾗﾑ
オープン	20	日	14:30	織田孝	
八王子南	26	土	14:00	小野耕司	江嶋勇蔵
日野	20	日	13:30	増田博保	倉橋弘
青梅	26	土	14:00	田名網昇	榊間裕
白 鳩 会 誌 友 会					
三鷹駅前	10	木	13:30	西村きぬこ	大沢高虎
三鷹東第一	18	金	14:00	阿部希枝子	梶山きみえ
武蔵野第一	4	金	13:30	春山由美子	二俣玲子
三鷹井口第一	10	木	13:30	高橋多恵子	大塚美佳代
三鷹井口第二	〃	〃	〃	吉野紀代子	〃
武蔵野祥南	13	日	13:30	加藤幸子	國本日登美
小金井第三	7	月	13:30	林瑞穂	城下早苗
東久留米第一	5	土	10:30	須谷珠己	田名網昇
東久留米第二	〃	〃	〃	寺西静枝	〃
清瀬	〃	〃	〃	瀬尾絵梨子	〃
東久留米新川第一	10	木	14:00	塚原光子	ﾈｯﾄﾌｫｰﾗﾑ
東久留米新川第二	17	木	13:30	水城イツ子	二俣玲子
東久留米新川第三	18	金	13:30	土屋利恵子	高橋優
田無緑町	19	土	13:00	西原幸子	中村純子
田無	8	火	13:30	元美也子	ﾈｯﾄﾌｫｰﾗﾑ
ひばり	2	水	10:00	橋岡マユミ	ﾈｯﾄﾌｫｰﾗﾑ
小平小川東町①	17	木	13:30	吉井裕子	寺西静枝
小平仲町第一	10	木	13:30	宮武三鈴	春山由美子
小平仲町第二	15	火	10:30	杉山廣子	椚啓子
小平天神町	3	木	14:00	二俣玲子	ﾈｯﾄﾌｫｰﾗﾑ
東村山南	16	水	13:30	井澤和子	澤登仁惠
武蔵村山第一	11	金	13:30	國近明美	長島倫子
武蔵村山三ツ木	〃	〃	〃	比留間富子	〃
調布下石原第二	毎	木	10:00	藤田友子	ﾈｯﾄﾌｫｰﾗﾑ
調布下石原第三	26	土	13:30	更家文惠	髙倉明子
調布若宮第一	10	木	10:30	仁井由紀子	髙倉明子
多摩川	〃	〃	〃	藤平睦子	〃
飛田給道場第一	14	月	10:30	赤井めぐみ	田村ミツエ
飛田給道場第二	21	月	18:00	丸山有潮	赤坂妙
稲城矢野口	11	金	13:30	渡邉由美子	石川律子
稲城向陽台	毎	木	10:00	田村ミツエ	ﾈｯﾄﾌｫｰﾗﾑ
府中むさし台	11	金	13:30	中村純子	大橋美樹子
府中天神	毎	土	19:30	横山恭子	ﾈｯﾄﾌｫｰﾗﾑ
府中北山	9	水	13:30	山上教江	新田芳枝
府中東芝	毎	木	20:00	大塚美佳代	ﾈｯﾄﾌｫｰﾗﾑ
府中本宿第一	15	火	10:30	赤坂妙	村上紘子
府中本宿第二	17	木	13:30	高倉明子	星谷絹代
国分寺東恋ヶ窪第一	21	月	13:30	布井登茂子	高井曉子
国分寺東恋ヶ窪第二	16	水	13:30	峯岸順子	飯島民惠
国分寺泉町	15	火	13:00	飯坂道子	市川洋子
西国分寺	18	金	13:30	大村眞知子	早川純子
国分寺光	25	金	10:30	高橋優	塚原光子
国分寺東元町	15	火	13:30	時任泰子	押見美耶子
国立東第一	3	木	10:00	永島衣美	ﾈｯﾄﾌｫｰﾗﾑ
国立東第二	17	木	13:30	織田美智子	大村眞知子
国立中第二	2	水	13:30	出野八千代	寺西静枝
国立富士見台	〃	〃	〃	村瀬伸子	〃
立川柴崎第一	28	月	13:00	永井恵子	椚啓子
町田玉川学園	10	木	13:30	石川悦子	恒川鼓
町田金井第一	6	日	13:30	武内千鶴	村上紘子
町田緑山	3	木	13:30	齋藤・老田	時任泰子
町田緑山つくし	10	木	10:00	齋藤美子	ﾈｯﾄﾌｫｰﾗﾑ
町田鶴川第三	24	木	10:00	中濵広子	長島倫子
町田能が谷	7	月	13:30	中田・大野	菅原恭子
町田野津田	15	火	13:30	小関三起子	山上教江
町田金森	11	金	10:00	菅原恭子	岩田幸枝
町田忠生	17	木	13:30	大橋美樹子	恒川鼓
町田相原①	9	水	13:30	上田志真恵	峯岸順子
町田相原②	19	土	13:30	吉原早苗	藤平睦子
日野西	8	火	13:30	馬場君子	押見美耶子
日野三沢	8	火	13:30	山口節子	岩田幸枝
日野仲田①	16	水	13:30	前谷雅子	ﾈｯﾄﾌｫｰﾗﾑ
日野仲田②	1	火	13:30	前谷雅子	ﾐﾆｲﾍﾞﾝﾄ
八王子七国寺田	15	火	12:00	恒川鼓	濵田壬季子
八王子楢原めじろ台①	20	日	13:30	小形明子	輪読会
八王子楢原めじろ台②	11	金	13:30	加藤幸子	山口節子
八王子下恩方	8	火	13:30	石井みのる	輪読会
八王子川口	3	木	13:30	鎌倉美佐子	押見美耶子
八王子寺町	7	月	13:30	澤登仁惠	石川律子
八王子平岡町	〃	〃	〃	二ノ宮ゆう子	〃
八王子大横町	17	木	13:30	秋山久美子	飯坂道子
八王子南大沢	10	木	13:30	加志すみ子	國本日登美
八王子別所	〃	〃	〃	早川いづみ	〃
多摩大塚	19	土	13:30	大澤裕水	赤坂妙
多摩落合				梅村聖子	輪読会
福生	11	金	13:30	冨田栄子	出野八千代
新町	28	月	10:30	小林百合子	丸山有潮
羽村	〃	〃	〃	土屋合子	〃
青梅梅郷	17	木	10:30	浅田龍子	中濵広子
青梅	17	木	10:30	吉原千津子	倉橋弘
青梅畑中第一	8	火	13:30	田中勝代	吉原千津子

※ 会場責任者が開催日を変更したい場合は、まず派遣講師と相談し、無理なら組織事務局へ連絡を。

7 月 定例行事の詳細

★ 1 日（火） 11:00「聖典等拝読のつどい」（相）

テキスト：『生命の實相』第 39 巻〈佛教篇〉
対象者：希望者はどなたでも参加できます

★4 日（金） 12:30「実相研鑽ネットフォーラム」
・「熟年のつどい」（白）

指　導：久都間 繁 教化部長
テキスト：『新版 生活の智慧 365 章』（4 頁参照）

★ 13 日（日） 10:30「青年誌友会」（青）

方　法：ZOOM で配信　　講師：織田美智子 講師
テキスト：『輝く未来が待っている』
対象者：20 ～ 40 代の青・壮年層
ZOOM ID は青年会事務局より希望者にご案内します。

★ 18 日（金） 12:30「若い白鳩のためのネットフォーラム」（白）

方　法：Zoom（東京**第一**がメイン会場）
指　導：久都間 繁 教化部長
テキスト：新刊『夢の地平線』谷口純子先生著
対象者：組織会員ならどなたでも

★ 22 日（火） 12:30「地方講師研修会」（講）

テーマ：“ 宗教目玉焼き論 ” への理解を深める
（テーマ解説は 6 頁を参照）
発表者：君塚静男 講師
吉田由美子 講師（東京第一）
指　導：久都間 繁 教化部長
テキスト：『戦後の運動の変化について』
『“ 神の子 ” は性別によらず』
『叡智の断片』、機関誌『生長の家』1月号
方　法：教化部もしくは Zoom

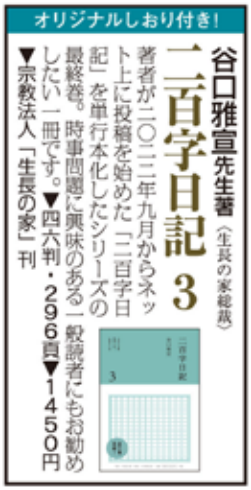
★ 28 日（月）12:30
「母親教室出講講師勉強会」（白）

テーマ：「親子、夫婦の絆を育てる」
～ 親と子のコミュニケーション ～
発表者：押見美耶子 講師
菅原　薫 講師（東京第一）
指　導：久都間 繁 教化部長
テキスト：『母親教室出講のための手引き』
『日々の祈り』『夢の地平線』
『神さまと自然とともにある祈り』
『森の日ぐらし』、普及誌『白鳩』8月号

「壮年向け行事」先取予告

★8 月 31 日（日）10:30
［白］壮年ＮＦ
体スッキリ飲み物＆デザート

★9 月 12 日（金）12:30
［白］若い白鳩のためのＮＦ
『夢の地平線』輪読、座談会
（教化部長の解説あり）



★ 新会員紹介

白鳩会　田無緑町　復活1名

新規聖使命会員5月分

（相）（青）以外は白鳩会

新規（護持）
小金井第二　1名
小平天神町　1名
東村山南　1名
東久留米第一　1名
府中むさし台　1名
府中本宿第一　1名
福生第一　2名
青梅畑中第一　1名

復活（護持）
田無緑町　1名
清瀬　2名

聖使命会費の報告書提出は、**引き落しは、15日までに**
現金納入は、25日までに

一汁一飯（いちじゅういっぱん）の日

毎月 15 日を「一汁一飯の日」と定め、浮いた食事代を近隣のフードバンクへ教化部を通じて寄付する運動をしています。皆様もご協力ください。
教化部に専用の募金箱を設置してありますのでご利用ください。

★ 献資・献納品

【一般寄付】
・匿名希望様　50 万円
・匿名希望様　10 万円
・匿名希望様　1 万円

【オープン食堂へ】（5 千円以上）
・槙田政子様　10 万円
・匿名希望様　5 千円

【青年会へ】
・町田第四地区連　1 万円
・匿名希望様　1 万円

日	曜	7 月　行事予定表　（青文字は教化部長が出席・指導）
1	火	分社月次祭 1000（大自然）、［相］聖典等拝読のつどい 1100
2	水	（参議会）
3	木	休館日
4	金	◆実相研鑽ＮＦ 1230 ネット併用、［白］熟年のつどい 1345（4 頁参照）
5	土	聖歌練習日 1330
6	日	責任役員会・六者会議 1000、青年会育成会議 1330（青少年下見）
7	月	万教包容の御祭 1100（配信）ネット併用
8	火	［白］正副 1000、［講］正副 1315
9	水	先祖供養祭 1000 ネット併用
10	木	休館日
11	金	
12	土	［相］役員会 1000 ネット併用、［教］役員会 1000、貯金箱作りミニイベント 1300
13	日	［青］誌友会 1030 ネット併用、［栄］総会・役員会 1300
14	月	
15	火	［講］正副推進 1315　一汁一飯の日　（搬入日）
16	水	地区先祖供養祭（調布・稲城）1230（3 頁参照）
17	木	休館日
18	金	◇［白］若い白鳩のための NF1230 ネット併用、聖歌練習日 1330
19	土	［相］会長会議 1000 ネット併用、一汁一飯イベント 1200
20	日	オープン食堂 1200
21	月	休館日（海の日）
22	火	◇［講］地方講師研修会 1230 ネット併用
23	水	［白］総連長・対策部長会議 1000、スマホ教室 1330、職員会議 1500
24	木	休館日
25	金	［講］派遣委員会 1030 ネット併用、聖歌練習日 1330（Zoom）ネット併用
26	土	
27	日	夏季青少年一日見真会（1 頁参照）
28	月	◆［白］母親教室講師勉強会 1230 ネット併用
29	火	
30	水	［講］写経見真会 1230
31	木	休館日

「◆◇」印のある行事
東京第一教区との合同行事。
◆印の方がメイン会場です。